

## WHO ICD URC 提案票（日本語）【記載例】

必ず、別添 2 - 2（英語）も併せて作成してください。

申請学会名	○×学会		
申請年月日	平成××年××月××日		
担当者名	厚生 ふうか		
担当者連絡先 (Tel/E-Mail)	(XXX)XXX-XXX / AAA_BBB@CCC.JP		
関係する ICD-10 コード及び コードタイトル (分類名)	G10-G14 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症		
関係する傷病名	ポリオ後症候群		
提案 内容 の 概要	<input type="checkbox"/> 既存コードの削除 <input type="checkbox"/> 既存コードの移動 <input checked="" type="checkbox"/> 新規コードの追加 (既存コード の細分)		
	<input type="checkbox"/> 既存のコードタイトル (分類名) の修正 <input type="checkbox"/> コードに含まれる傷病名等の追加 (選択: 内容例示の包含用語/除外用語/索引の用語) <input type="checkbox"/> 既存の傷病名等に割り当てられているコードの修正 (選択: 内容例示の包含用語/除外用語/索引の用語)		
具体的な提案内容	<p>第 2 巻 内容例示</p> <p>主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 (G10-<del>G13</del>G14)</p> <p>...</p> <p>G13* 他に分類される疾患における主に中枢神経系を障害する系統萎縮症</p> <p><u>G14 ポリオ後症候群</u></p> <p><u>灰白髄炎後症候群</u></p> <p><u>除外: 灰白髄炎&lt;ポリオ&gt;の続発・後遺症 (B91)</u></p> <p>&lt;上記に伴い必要となる除外事項の追加&gt;</p> <p>B91 灰白髄炎&lt;ポリオ&gt;の続発・後遺症</p> <p><u>除外: ポリオ後症候群 (G14)</u></p> <p>M89.6 急性灰白髄炎&lt;ポリオ&gt;後骨障害</p> <p>既往の急性灰白髄炎&lt;ポリオ&gt;の分類が必要な場合は、追加コード (B91) を使用する。</p> <p><u>除外: ポリオ後症候群 (G14)</u></p> <p>&lt;上記に伴い必要となる第 3 巻 索引用語の追加&gt;</p> <p>灰白髄炎後一病態を参照</p> <p>-オステオパシー&lt;骨障害&gt; M89.6</p> <p><u>-症候群 G14</u></p>		

裏面に続く

	<p>症候群－疾患＜病＞も参照</p> <p>．．．</p> <p>-ポリオ後（灰白髄炎後）G14</p>
提案理由	<p>本症候群は不可逆的で、治療できず、運動ニューロンの進行性の機能障害という観点から、ポリオ後遺症に分類すべきではない。つまり ICD-10 で A80 および B91 で規定されるものと異なり、新たにカテゴリーを設けるべきである。</p>

必ず、別添 2－2（英語）も併せて作成してください。

エビデンス	疾患の概念・定義		
	症状		ポリオ発症後長期間経過してから起こる、筋の脱力や疲労等
	病因		最も受け入れられているのは 1875 年の Charcot による Super-training 理論で、ポリオウィルスの急性感染により、ウィルスが脊髄全角細胞を傷害し、神経細胞の可塑性のためいくつか運動単位が除神経され、それらの修復が起こる。30 年から 40 年の潜伏期の後、神経修復の結果形成された巨大運動単位の代謝の要求の影響で運動神経の障害がはじまり、新たな神経萎縮等を起こす。
	臨床所見		進行性の筋萎縮、脱力、筋関節痛
	その他 （基礎疾患・合併症・予後等の情報、診断基準や治療法の有無、関連指針等についてご記載ください）		UNICEFESP-EPM の研究によると、随伴症状として睡眠障害、めまい、記憶障害等がおこる。他の診断に重要な所見はポリオ罹患からの経過期間であり、30 年から 40 年であることが多い。
	疫学情報		
	罹患者数・率、有病者数・率	国内	北九州市でポリオ罹患者のうち 85% 北九州市では人口 10 万対 18 (Takemura, 2004)
		世界	英国で罹患率 77% (Bruno, 1997)、NZ で 47% (CHETWYND, 1993) 他 欧州で 25 万人、世界で 2 千万人 (BOSH, 2004)
	死亡者数・率	国内	
		世界	
	その他(公衆衛生上の重要性、性差、好発年齢・好発地域等についてご記載ください)		世界各国をみると、ポリオ罹患者のうちポリオ後症候群になるのは 50～80%という報告が多い。2003 年に欧州で PPS に関する団体と欧州議会メンバー20 名がポリオに関する欧州連合を創設しており、ポリオ後症候群が疾病分類として認識されることが喫緊の課題となっている。
	医学的コンセンサスの程度		
	英文根拠論文		別添参照
備考			

